

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2022/01/04

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.22	0.01
JPY/THB	0.2885	-0.0001
USD/JPY	115.32	0.24
EUR/THB	37.55	-0.21
EUR/USD	1.1297	-0.0073
USD/CNH	6.374	0.017
SGD/THB	24.57	-0.06
AUD/THB	23.91	-0.20
USD/INR	74.26	-0.08
USD Index	96.21	0.54

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,800.1	-28.5
WTI (Oil)	76.08	0.87
Copper	9,720.5	0.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,657.62	0.00
NIKKEI (JP)	28,791.71	0.00
DOW (US)	36,585.06	246.76
S&P500 (US)	4,796.56	30.38
SHCOMP (CN)	3,639.78	0.00
DAX(GER)	16,020.73	135.87

Bond

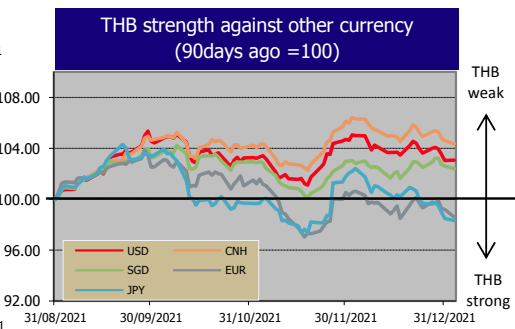
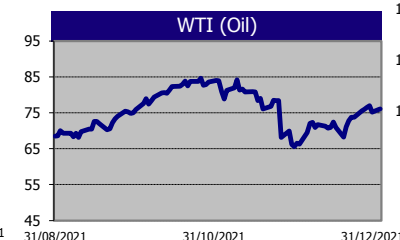
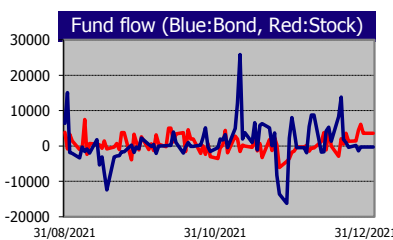
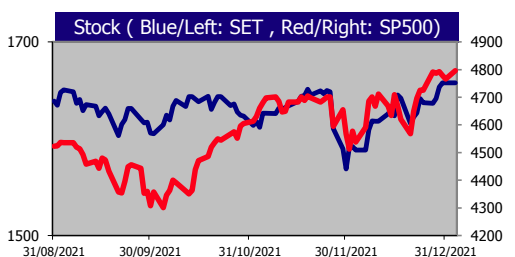
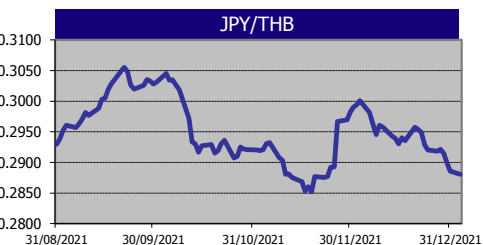
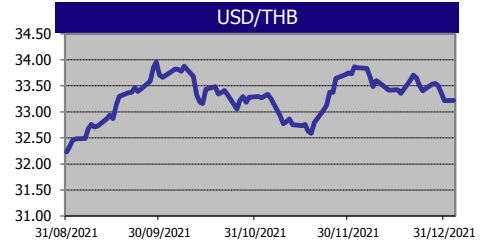
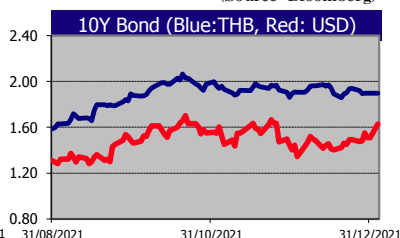
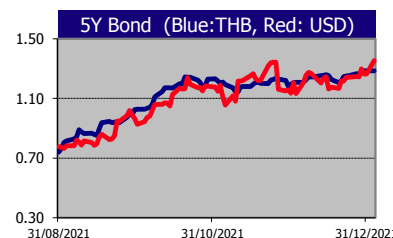
	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.286	0.000
10Y (THB)	1.897	0.000
5Y (USD)	1.354	0.091
10Y (USD)	1.628	0.118

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	3,563	0.0
Bond net flow	(330)	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

12月30日のドルパーツは33パーツ半ばで取引開始。オンショアの年内最終取引日を迎えて、日中はポジション調整のためか僅かにドル売り優勢。その後の海外時間でも目立った動き見られず、33.30台と小幅ドル安で引けた。31日は年末の薄商いが続くも、小幅下落。海外時間序盤には33.20前後での取引が中心となり、同レベルを維持したまま2021年を終えた。年明け1月3日もタイ休日だったが、再びドル安が強まった。その後の海外時間には社債発行が重なって米債利回りが上昇を続けたため、33.22レベルまで戻して引けた。

●ドル円その他

12月30日のドル円は114円後半で取引開始。東京公示に向けてドル買いが進んだ後もドル円は上昇基調。115.20近辺まで上昇し、海外時間も同水準を維持した。31日は東京休場かつ年内最終取引日のため、動意乏しい展開。そのまま終日狭いレンジ内で推移した。1月3日、引き続き東京市場休場だったが、米債利回りの上昇にサポートされて115.30台へ。海外時間には一時115円を割り込んだが、米債利回りは直近の高水準を維持。下げ幅を縮小して115.32でクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

本日より2022年の取引が始まりました。2022年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。2021年を振り返ると、タイ経済は終始コロナに左右された1年でした。相場格言では2021年(丑年)は「つまずき」とされています。タイパーツ相場は昨年8月や11月にパーツ安トレンドが終わったかのように動きが一時ありましたが、その後は再び高値更新となりましたので、そういった意味では相場に「つまずき」があったと考えております。今年は寅年ということで、相場格言としては「千里を走る」という言葉だそうです。これはタイ経済が回復、世界経済も回復してタイパーツが買い進められるという意味での「走る」ではなく、波乱が起こりやすいことを意味しているとのこと。ようやくタイ経済の回復に向けて経済も薄日が差してくるかという期待を持っているところですが、2022年はコロナではなく、米中間の関係やウクライナ情勢を巡る米露の関係等が注目されて、再びボラタイルな相場となり、格言通りの展開となることも有り得ます。今年もそうしたボラタイルな展開に備えて予算レートと採算レートと比較しながら早めのヘッジを検討されてみてはいかがでしょうか。(鈴木)